



2026 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 J S P
代表者の役職氏名 代表取締役社長 大久保知彦
(コード番号：7942 東証プライム)
連絡者の役職氏名 取締役常務執行役員 中嶋一浩
経営企画本部長
(TEL：03-6212-6306)

2027 年 3 月期 第 2 四半期 (中間期) 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 4 月 30 日に公表いたしました 2027 年 3 月期の連結業績予想について、下記の通り修正することをお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2027 年 3 月期第 2 四半期 (中間期) 連結業績予想数値の修正 (2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 82,000	百万円 3,900	百万円 4,000	百万円 2,900	円 銭 110.66
今回修正予想 (B)	86,000	7,000	7,100	5,500	209.87
増減額 (B-A)	4,000	3,100	3,100	2,600	
増減率 (%)	4.9	79.5	77.5	89.7	
(ご参考) 前期中間期実績 (2026 年 3 月期第 2 四半期 (中間期))	70,307	3,076	3,240	2,860	109.15

(2) 2027 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 164,000	百万円 7,000	百万円 7,200	百万円 5,000	円 銭 190.79
今回修正予想 (B)	168,000	10,000	10,200	7,500	286.18
増減額 (B-A)	4,000	3,000	3,000	2,500	
増減率 (%)	2.4	42.9	41.7	50.0	
(ご参考) 前期実績 (2026 年 3 月期))	145,456	7,765	8,092	6,602	251.92

(3) 要約セグメント情報

	2027 年 3 月期 前回発表予想		2027 年 3 月期 今回修正予想	
	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
押 出 事 業	52,000	1,200	53,000	2,100
ビ ー ズ 事 業	112,000	6,900	115,000	8,900
計	164,000	8,100	168,000	11,000
調 整 額	---	△1,100	---	△1,000
合 計	164,000	7,000	168,000	10,000

(4) 今後の見通し及び修正の理由

当社は、2026 年 4 月 30 日に公表いたしました 2027 年 3 月期の連結業績予想について、以下の理由により修正いたします。

2027 年 3 月期の世界経済は、ホルムズ海峡の通航再開により、2027 年 3 月までに概ね紛争前の状況へ回復することを前提としております。ただし、需要動向を含め先行きには不透明感が残るものと見込んでおります。

原油価格をはじめとする原材料価格については、ピークであった 4 月以降は落ち着きを見せているものの、引き続き高水準で推移することを前提としています。

これらの前提を踏まえたセグメント別の業績見通しは、以下のとおりです。

(押出事業)

生活資材製品及び産業資材製品は、第 1 四半期において原材料供給への懸念を背景とした一時的な需要増加により販売が堅調に推移しましたが、通期では概ね前年並みの販売水準を見込んでおります。建築・住宅分野向け断熱材については、第 1 四半期の一時的な需要増加の反動に加え、原材料価格や物価上昇による影響から、第 2 四半期以降は需要の減少を見込んでおります。

この結果、押出事業の売上高は、販売は前回予想を下回るものの、原材料価格上昇に伴う製品価格改定の効果により前回予想を上回る見込みです。利益面についても、主として製品価格改定の進展により、前回予想を上回る見込みです。

(ビーズ事業)

発泡ポリプロピレン「ARPRO」を中心とした高機能材製品は、欧州及び中国を中心に販売が好調に推移する見込みです。欧州では、中東情勢に伴うガソリン価格高騰や補助金政策を背景として EV 需要が拡大し、第 2 四半期までは販売が好調に推移する見込みです。第 3 四半期以降はその反動を想定しており需要は落ち着くものと見込んでおりますが、リサイクル原料を使用した「ARPRO RE」の市場認知の向上を背景に、市場シェアの拡大を見込んでおります。中国では、バッテリー関連向け包装材の需要が引き続き堅調に推移しており、販売は前回予想を上回る見込みです。

この結果、ビーズ事業全体の売上高は、主に「ARPRO」を中心とした高機能材製品の販売増加に加え、原材料価格上昇を反映した製品価格改定により、前回予想を上回る見込みです。利益面についても、欧州及び中国における販売増加に加え、発泡性ビーズ製品の販売が想定ほど落ち込まないことから、前回予想を上回る見込みです。

(注) 業績予想数値及び将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は流動的な環境の変化や様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上